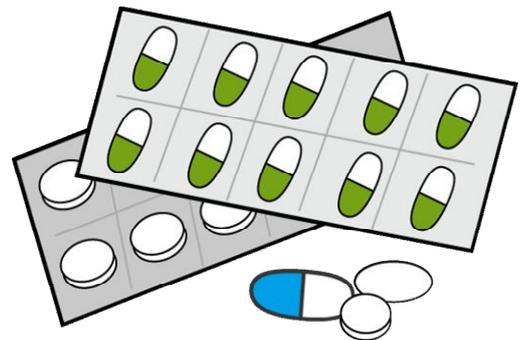


くすりの保存・管理

クスリは決められた保存方法で保管して下さい。保存方法によってはクスリを飲むまでに変質して効き目がなくなってしまうこともありますので注意して下さい。日常の注意として以下の点を守ることが大切です。

♥室温保存する時

- ★1～30℃の間で保管して下さい。
- ★温度指示のある場合はその指示に従って下さい。
- ★空き箱や空き缶に入れ、なるべく涼しい場所に保管するのも1つの方法です。
(乾燥剤を入れるとなおよいです。)
- ★冷蔵庫は結露などをおこしますので避けて下さい。



♥冷所保存する時

- ★15℃以下で保管して下さい。
- ★温度指示のある場合にはその指示に従って下さい。
- ★冷蔵庫に保管して下さい。(冷凍庫は避けましょう。)
- ★例えば、目薬やシロップなどの液は細菌汚染防止のため、開封後は冷蔵庫に保管して下さい。インスリン等の注射薬は凍結させないで下さい。

♥遮光保存する時

- ★光に当たらないように、空き箱や空き缶に保管して下さい。

♥使用期限

- ★記載があるものは、それを守って下さい。
- ♪ 小さなお子様がいる家庭では、開けにくい容器に入れお子様の手が届かないところにしまうなど、誤って口にしないよう気配りして下さい。
- ♪ 病院からもらうクスリは、自分のオーダーメイドですので、同じような症状だからという自己判断で他人へクスリを譲渡しないで下さい。

では、次の方々の保存・管理について一緒に考えてみましょう。

Aさんの場合

『風邪をひいて錠剤と坐薬をもらった。冷所保存となっている坐薬に合わせて、全て冷蔵庫で保管した。』

⇒冷所保存の坐薬を冷蔵庫で保管することは正しいです。しかし、この錠剤が冷所保存ではないなら一緒に保管はしません。結露をおこし錠剤が変質してしまうことも予想されます。

同じ時にもらった薬でも、薬ごとの保存が必要です。

Bさんの場合

『インシュリンを誤って凍結させてしまったので、処分し、新しいものを使った。』

⇒インシュリンは凍結すると成分が変質してしまいますので、新しいものを使いましょう。

また、インシュリンの保存方法は「凍結を避け、2～8℃に遮光して保存する。」となっています。個別に保管方法の指示がある場合には、それに従ってください。ただし、インシュリンの場合、使い始めたキットは結露の関係上、室温で保存し、1か月をすぎたときには新しいキットに交換してください。

Cさん夫婦の場合

『昨夜より頭痛が続いているCさんは、腰痛のため痛み止めをもらっている奥さんに薬をわけてもらい、服用した。』

⇒たとえ家族でも、同じ「痛み」だからといって薬を分けてもらうことはいけません。処方された薬は、あなた個人に合わせたものです。

Dさんの場合

『もらった薬は乾燥剤とともに空き箱に入れて保管している。直射日光を避け、高温・多湿にならないよう、風通しのよい場所においている。』

⇒保管に大切なことは、光、温度、湿度の3つです。室温保存の薬を保管するには、Dさんのように直射日光を避け、高温・多湿にならないように保存しましょう。

『薬を安全に使うために、保存・管理も正しくしましょう』

■理念

赤十字の基本理念に基づき、個人の尊厳および権利を尊重し、質の高い医療を提供します

■基本方針

1. 患者様の人権と意思を尊重した病院環境を造ります
2. 急性期医療を中心にして診療を進めます
3. 救急医療の充実に努めます
4. 地域の医療機関等との連携を推進します
5. 国内外の災害時の医療活動に貢献します
6. 職員の教育、研修を充実させます
7. 健全経営に留意して、その結果を社会に還元します

■私たちは患者さまの権利を尊重します

1. 適切な医療を受ける権利
2. 医療に関して知る権利
3. 医療行為を自分で選ぶ権利
4. プライバシーを保証される権利
5. 人権を尊重される権利
6. セカンドオピニオンを受ける権利